

調査結果の概要

F 1 : 総人口&高齢者人口>>「高齢化率」に変換

	回答市区町村数 ¹
10%未満	0
10~15%未満	11
15~20%未満	120
20~25%未満	306
25~30%未満	287
30~35%未満	170
35%以上	107
(合計)	1001

F 2 : 都市規模

1. 都市部（政令指定都市及び東京 23 区）	33
2. 大都市（人口 20 万人以上）	77
3. 中都市（人口 10 万人～20 万人未満）	115
4. 小都市（人口 10 万人未満）	326
5. 町村	450

F F : 地域（ブロック）

北海道	92
東北	122
関東	218
中部	212
近畿	92
中国	65
四国	46
九州	154

¹ 社会福祉協議会からのみの回答のあった自治体も含む

Q1：高齢者に対する「就労支援」について

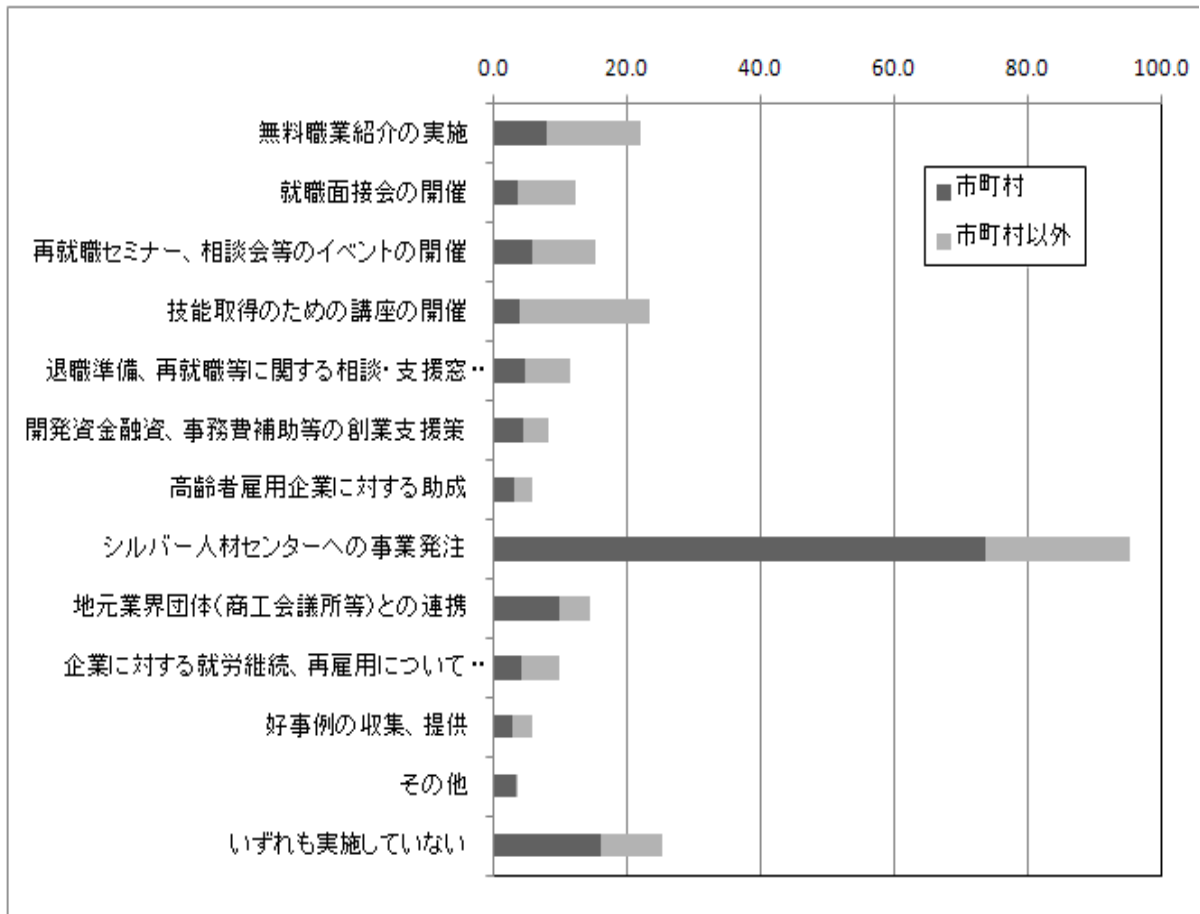
市町村が実施する「高齢者に対する就労支援」対策としては、「シルバー人材センターへの事業発注」(73.6%)が最も多い。

「市町村以外の実施主体」による対策としては、「シルバー人材センターへの事業発注」(21.2%)および「技能習得のための講座の開催」(19.5%)が上位に位置している。

「①実施中」のもの、「②実施を検討」しているもの、それぞれについて、いくつでも選んで○をつけてください。実施中のものについては、実施主体を「市町村」および「市町村以外」にわけてお答えください（両者が連携している場合は両方に○をつけてください）。

(注)「市町村以外の実施主体」とは、社会福祉協議会、商工会議所、自治会・町内会、NPO他の団体などを含みます。

	① 実施中		② 実施 を 検討
	市町村	市町村 以外	
1. 無料職業紹介の実施	8.0	13.9	1.2
2. 就職面接会の開催	3.5	8.8	1.5
3. 再就職セミナー、相談会等のイベントの開催	5.7	9.5	1.7
4. 技能習得のための講座の開催	3.7	19.5	2.2
5. 退職準備、再就職等に関する相談・支援窓口の設置	4.5	6.8	1.6
6. 開発資金融資、事務費補助等の創業支援策	4.3	3.9	1.5
7. 高齢者雇用企業に対する助成	2.9	2.8	1.2
8. シルバー人材センターへの事業発注	73.6	21.8	0.9
9. 地元業界団体(商工会議所等)との連携	9.7	4.7	1.6
10. 企業に対する就労継続、再雇用促進についての働きかけ	4.1	5.6	1.9
11. 好事例の収集、提供	2.7	3.1	2.0
12. その他	3.2	0.4	0.7
13. いずれも実施していない	15.9	9.4	6.3



<高齢者に対する就労支援の実施率（市町村および市町村以外）>

Q2：高齢者に対する「社会参加への支援策」について

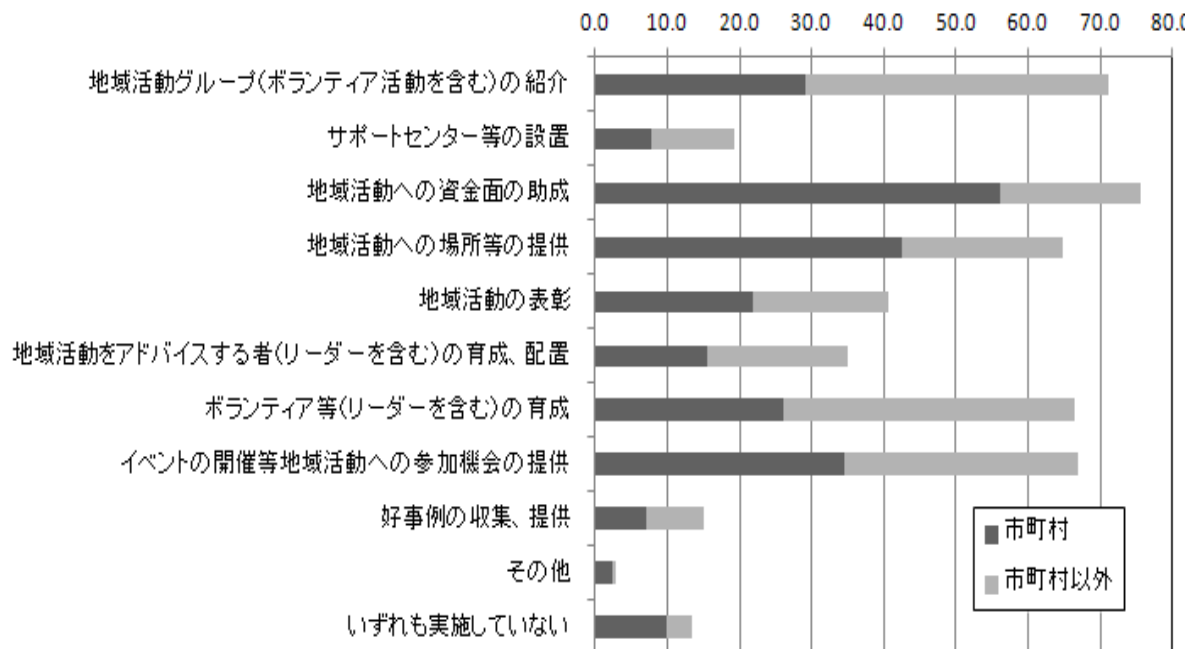
市町村が実施する「高齢者に対する社会参加への支援」対策としては、「地域活動への資金面の助成」（56%）、「地域活動への場所等の提供」（42.6%）、「イベントの開催等地域活動への参加機会の提供」（34.6%）が上位を占める。

市町村以外が実施する対策としては「地域活動グループの紹介」（29.1%）「ボランティアの育成」（40.5%）など人材関連の対策が上位を占める。

「①実施中」のもの、「②実施を検討」しているもの、それぞれについて、いくつでも選んで○をつけてください。実施中のものについては、実施主体を「市町村」および「市町村以外」にわけてお答えください（両者が連携している場合は両方に○をつけてください）。

（注）「市町村以外の実施主体」とは、社会福祉協議会、商工会議所、自治会・町内会、NPO他の団体などを含みます。以下同様。

	① 実施中		② 実施を検討
	市町村	市町村以外	
1. 地域活動グループ(ボランティア活動を含む)の紹介	29.1	42.0	1.3
2. サポートセンター等の設置	7.9	11.3	2.7
3. 地域活動への資金面の助成	56.0	19.5	0.9
4. 地域活動への場所等の提供	42.6	22.2	1.6
5. 地域活動の表彰	21.9	18.7	0.7
6. 地域活動をアドバイスする者(リーダーを含む)の育成、配置	15.5	19.5	2.1
7. ボランティア等(リーダーを含む)の育成	26.0	40.5	1.4
8. イベントの開催等地域活動への参加機会の提供	34.6	32.3	1.2
9. 好事例の収集、提供	7.1	8.0	1.7
10. その他	2.3	0.5	0.7
11. いずれも実施していない	9.9	3.6	3.1



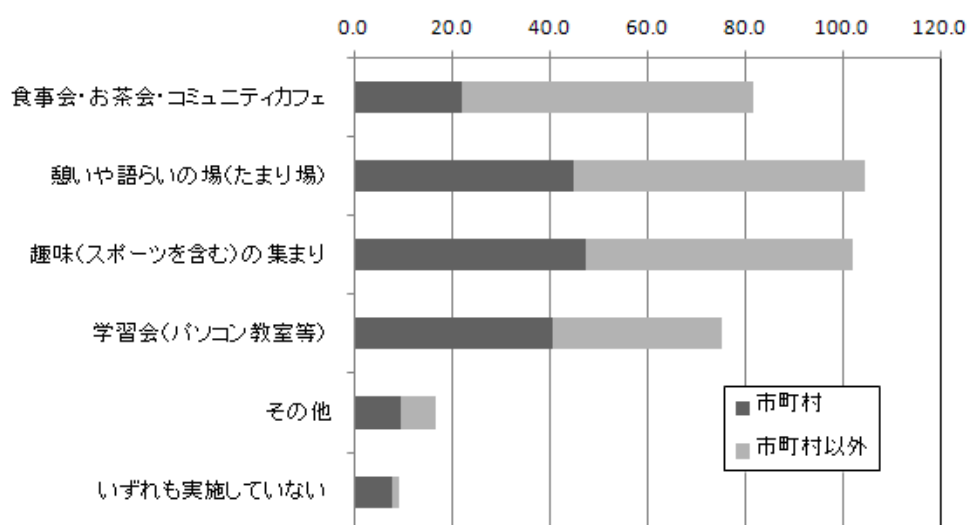
<高齢者に対する社会参加支援の実施率(市町村+市町村以外)>

Q3：地域の高齢者が自ら進んで出かけられる「居場所」をつくる取組について

高齢者の居場所に関する取組としては、市町村実施では「趣味の集まり」（47.3%）「憩いや語らいの場（たまり場）」（44.9%）が上位に位置し、市町村以外の実施では、「憩いや語らいの場」（59.8%）、「食事会・お茶会・コミュニティカフェ」（59.5%）、「趣味の集まり」（54.8%）が多い。実際の居場所での取組みは、複数の目的が重複して実施されていることも少なくない。

「①実施中」のもの、「②実施を検討」しているもの、それぞれについて、いくつでも選んで○をつけてください。実施中のものについては、実施主体を「市町村」および「市町村以外」にわけてお答えください（両者が連携している場合は両方に○をつけてください）。

	① 実施中		② 実施を検討
	市町村	市町村以外	
1. 食事会・お茶会・コミュニティカフェ	22.1	59.5	2.0
2. 憩いや語らいの場（たまり場）	44.9	59.8	3.6
3. 趣味(スポーツを含む)の集まり	47.3	54.8	0.6
4. 学習会(パソコン教室等)	40.7	34.7	0.6
5. その他	9.4	7.2	0.9
6. いずれも実施していない	7.7	1.4	1.8



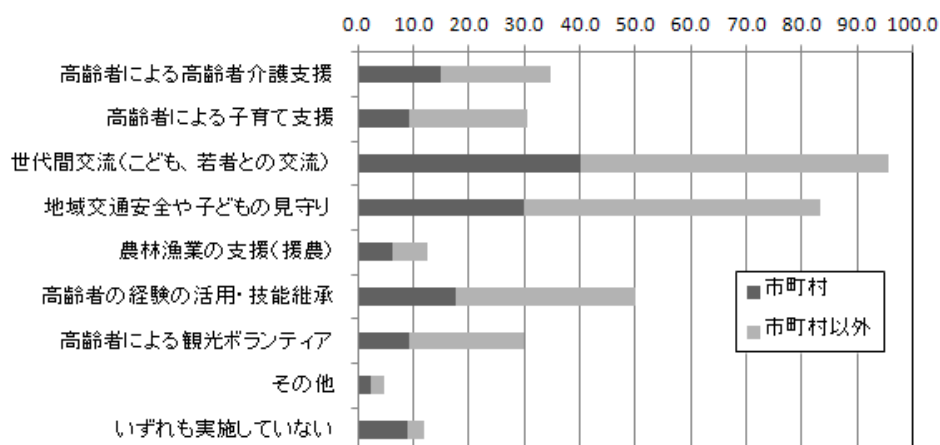
＜高齢者に対する居場所づくりの実施率（市町村＋市町村以外）＞

Q4：地域の高齢者の「社会参加活動(出番)」の分野について

高齢者の社会参加活動（出番）の具体的な分野としては、「世代間交流」（40.1%）、「地域交通安全や子どもの見守り」（30.0%）が上位をしめている。

「①実施中」のもの、「②実施を検討」しているもの、それぞれについて、いくつでも選んで○をつけてください。実施中のものについては、実施主体を「市町村」および「市町村以外」にわけてお答えください（両者が連携している場合は両方に○をつけてください）。

	① 実施中		②実施を検討
	市町村	市町村以外	
1. 高齢者による高齢者介護支援	14.8	19.9	4.7
2. 高齢者による子育て支援	9.3	21.1	2.6
3. 世代間交流（こども、若者との交流など）	40.1	55.4	1.7
4. 地域交通安全や子どもの見守り	30.0	53.4	0.6
5. 農林漁業の支援（援農）	6.1	6.3	1.9
6. 高齢者の経験の活用・技能継承	17.7	32.4	1.9
7. 高齢者による観光ボランティア	9.1	20.9	1.8
8. その他	2.3	2.3	0.8
9. いずれも実施していない	9.0	2.9	2.1



<高齢者の出番に関する取組み実施率（市町村＋市町村以外）>

Q5：地域の「高齢者の居場所と出番に関する取組」について、全国で紹介したいような事例があれば、その概要を以下に記入してください。

(省略)

Q6：高齢者の居場所と出番に関して、「男性高齢者の参加率が低い」ことが指摘されています。貴自治体において、男性高齢者の参加率を上げるために何か工夫されていることはありますか。

男性高齢者の社会参加を上げる工夫は、1割の自治体で行われている。
男性参加率が多いと思われる分野は、「趣味」(45.4%)、「交通安全」(41.7%)、「技能継承」(32.6%)などである。

- | | |
|---------------|-------|
| 1. 特に工夫はしていない | 83.5% |
| 2. 工夫をしている | 9.6% |

Q6-1：また、下記の分野(Q3、Q4の下線部分)の中で男性高齢者の参加が多いと思われる分野について、いくつでも○をつけてください。

- | | |
|----------|------|
| 1. 食事会 | 5.9% |
| 2. 憩い | 6.3 |
| 3. 趣味 | 45.4 |
| 4. 学習 | 20.2 |
| 5. 介護 | 0.9 |
| 6. 子育て | 0.3 |
| 7. 世代間交流 | 16.4 |
| 8. 交通安全 | 41.7 |
| 9. 援農 | 13.3 |
| 10. 技能継承 | 32.6 |
| 11. 観光 | 9.2 |
| 12. その他 | 4.5 |

Q7：東日本大震災以降、高齢者の居場所と出番に関連して新たに実施している取組について、あてはまるものがあればいくつでも○をつけてください。今回の震災で被災された自治体および被災されなかった自治体、すべてにおうかがいします。

東日本大震災以降の新たな取組としては、被災3県を含む東北ブロックでは、「仮設住宅などでの被災高齢者の孤立防止対策」(18.0%)、「被災高齢者を含む地域のたまり場づくり」(12.3%)であるのに対し、東北以外の地域ブロックでは「将来の災害に備えて、高齢者の孤立防止対策の実施」が多くあげられている。

- | | |
|-------------------------------------|------|
| 1. 仮設住宅などでの被災高齢者の孤立防止対策 | 2.8% |
| 2. 被災高齢者を含む地域のたまり場づくり | 2.7 |
| 3. 高齢者の知恵や経験を活用した被災コミュニティの復興支援 | 0.4 |
| 4. 高齢者による震災復興ボランティア活動の支援 | 0.2 |
| 5. 将来の災害に備えて、高齢者の孤立防止対策の実施（地域見守りなど） | 18.4 |
| 6. その他 | 2.5 |
| 7. 特に実施しているものはない | 56.1 |

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
仮設住宅などでの被災高齢者の孤立防止対策	0.0	18.0	1.8	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
被災高齢者を含む地域のたまり場づくり	0.0	12.3	1.4	1.9	0.0	1.6	2.2	1.9
高齢者の知恵や経験を活用した被災コミュニティの復興支援	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
高齢者による震災復興ボランティア活動の支援	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
将来の災害に備えて、高齢者の孤立防止対策の実施（地域見守りなど）	7.7	17.2	18.9	23.1	13.0	14.3	20.0	22.7
その他	2.2	0.8	2.8	1.4	3.3	4.8	0.0	4.5
特に実施しているものはない	64.8	50.0	59.9	55.2	60.9	61.9	51.1	48.1

〈地域ブロック別の東日本大震災以降の新たな取組〉

Q8：今回のアンケートについて、何かお気づきの点等がありましたらご記入ください。

(省略)